

## 城山町の40年とこれから

城山クリニック院長 西野 宏

城山町40周年おめでとうございます。

早いものですね。私（内科）と妻（小児科）が城山で開業したころ、町には三十代の世帯が多く、毎年たくさんの赤ちゃんが生まれ、ちょっとした「ベビーブーム」でした。患者さんも子どもが中心で、夜間の発熱などの受診もたびたびありました。

私たち夫婦の三人の子どもも、城山保育園・城山小学校のお世話になり、「緑の中の輝く子」として伸び伸び育ちました。「緑の中の輝く子」というのは城山小十周年記念誌に付けられた題名です。PTA会長だった寺田さんが中心になって、すばらしい本ができました。

子育てにあたっては、近所の方々のお力添えのおかげで仕事との両立が可能になりました。何軒ものお家に預かっていただき、良い影響を与えていただきました。その時一緒に遊んだ同年代のお子さんたちは、今でも「竹馬の友」として交流させていただいています。

城山保育園での土に親しむ生活や、城山小学校の豊かな環境の中での一人一人目の行き届いた教育のお陰で、子どもたちは健康に育ち巣立って行きました。

子どもたちは現在、それぞれ呼吸器内科医・産婦人科医・消化器内科医となり、長男が週一回、外来をしに来て居ります。

城山はこの40年間、ずっと「子育ての理想郷」であったと思います。そして今、高齢者の理想郷にもなろうとしています。私たちは城山の皆さんが元気で長く暮らせる一助となるよう、医療を提供して行きたいと思っています。

最後に、「子育ての理想郷」「高齢者の理想郷」としての城山の財産は、若い世代に受け継がれて行かないと無くなってしまいます。そのため、大宮先生をはじめ多くの方々のご尽力されています。

情報技術の発達やテレワークの普及で、世の中は自分の住みたい場所に住める時代になりつつあります。若い人と力を合わせて情報発信をし、新しい世代に城山に住んでいただく努力をしたいと思っています。

## 前田接骨院

前田接骨院 前田 行昭

つばめが、今年もやってきました。間もなく巣立っていくことでしょう。

この豊かな自然の中で成長し、巣立って行く子供達を見続けて、16年になります。ここに来た当時は、家内の父母も元気で、城山団地での生活を楽しんでいました。

今、私は80歳になろうとしています。今まで研究と治療を続けて来た、『足もとの治療』により、幼児や高齢者が、立てたり、歩ける様になったり、走ったり、仕事が出来る様になったりしています。その姿を見るのが私の生き甲斐です。

生き甲斐とは、世に生きている価値を見出し価値ある生き方、世に役立つ生き方を模索し続けることと思っています。

城山団地の自然の恵みと、人々の和に感謝しつつ、まだ暫くは仕事をさせて頂こうと思っています。

